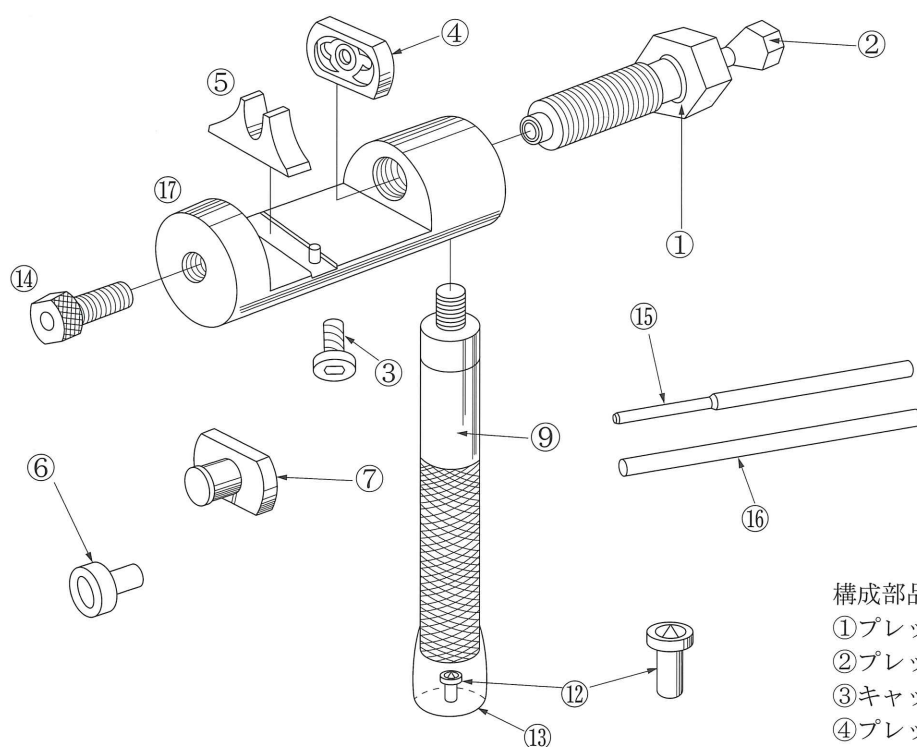


ドライブチェーンカシメ工具の使い方

90ツール(RK-90)

★この工具は、チェーンを実車から外さないで切断・圧入・カシメの3通りの作業を能率良く行うことができます。

★一度切断したチェーンジョイントピン及びジョイントプレートは、安全上再使用しないで下さい。



構成部品と名称

- ① プレッシャーボルト A
- ② プレッシャーボルト B
- ③ キャップボルト
- ④ プレッシャーホルダー
- ⑤ ガイドプレート
- ⑥ バックアップピン
- ⑦ ウェッジホルダーセット
- ⑨ グリップハンドル
- ⑫ フレアーピン (428用、50用)
- ⑬ キャップ
- ⑭ アジャスターボルト (穴付)
- ⑮ ピン抜き棒 (428用)
- ⑯ ピン抜き棒 (50用)
- ⑰ ボディ

RK[®]
TAKASAGO CHAIN

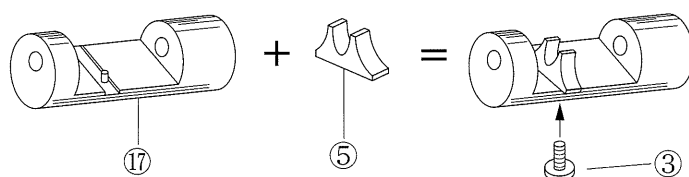
I. ガイド・プレートの選定及びセット作業

1. ドライブチェーンの切断・圧入・カシメ作業時、ドライブチェーンの種類に応じてガイドプレートを選定して御使用下さい。他の種類には絶対使わないで下さい。

ガイドプレートの使用範囲

ガイドプレート種類	ドライブチェーン種類
428	420, 428
500	520, 525, 50 (530)
532	532 (別売)
630	630 (別売)

2. ガイドプレートをボディへのセット作業

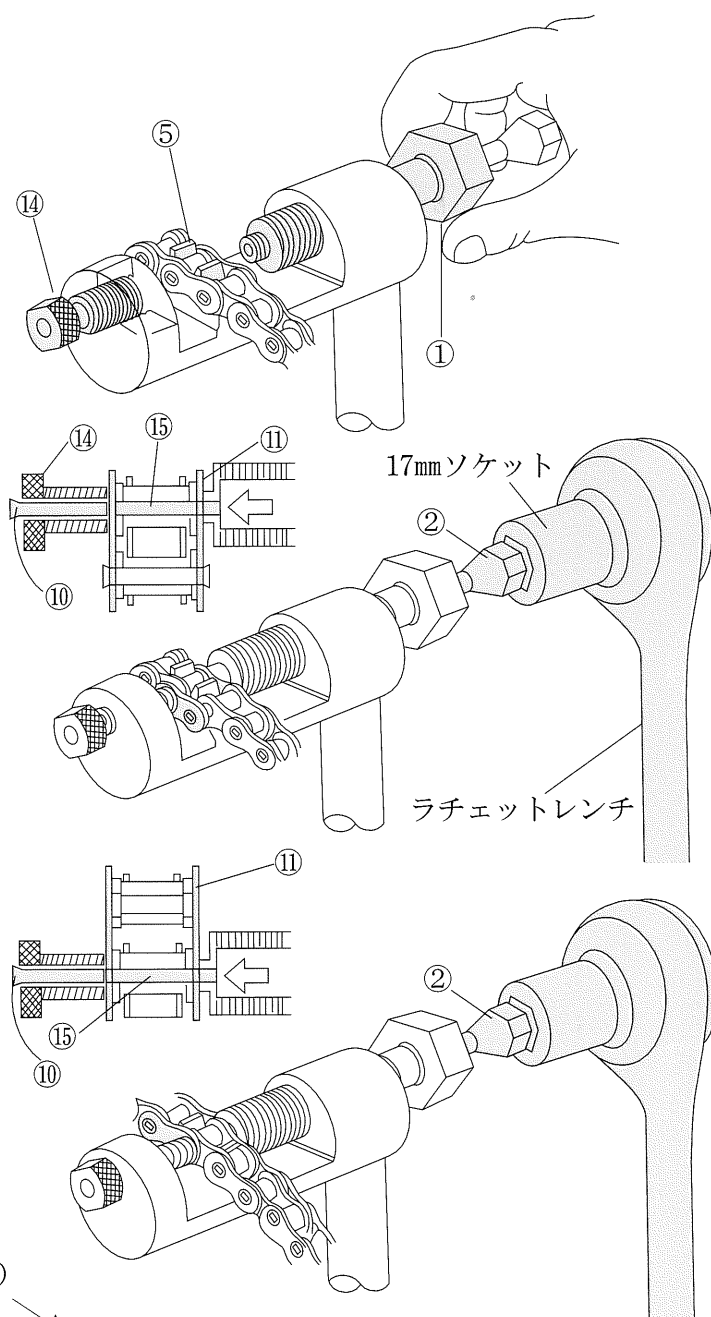


ボディ①⑦へガイドプレート⑤を乗せ、キャップボルト③で締付け固定させる。

II. ドライブチェーンの切断

チェーンを掛けかえ、ジョイントピンを交互に加圧して切断して下さい。

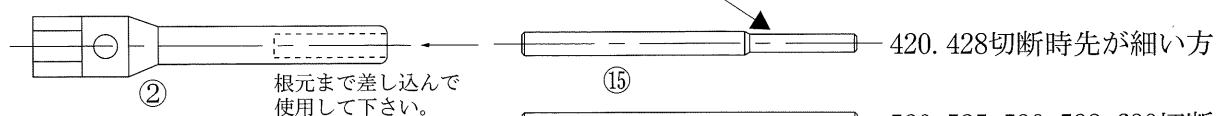
1. 切断する部分をガイドプレート⑤に乗せ、アジャスターボルト(穴付)⑭をネジ込みチェーンを軽くホルドします。次に、プレッシャーボルトA①をネジ込みチェーンを固定します。
2. プレッシャーボルトB②にピン抜き棒⑮又は⑯を差し込んだ状態でプレッシャーボルトA①にネジ込み、プレッシャーボルトB②をお手持ちのラチェットレンチ等で回し、ジョイントプレート⑪からジョイントピン⑩を完全に抜いて下さい。
3. チェーンを乗せかえ、もう一つのジョイントピンについて、上記1、2の作業をくり返し、ジョイントプレート⑪からジョイントピン⑩が完全に抜けるまで、プレッシャーボルトB②をネジ込みます。
4. ジョイントピンが完全に抜けてからチェーンを切り放して下さい。



プレッシャーボルトB②とピン抜き棒⑮の

使用方法

(φ3.8:428用)



根元まで差し込んで
使用して下さい。

420. 428切断時先が細い方

520. 525. 530. 532. 630切断時

⑯

Ⅲ. ジョイントプレートの圧入

250cc以上用のシールチェーンのジョイントは、ジョイントピンとジョイントプレートが圧入タイプです。

1. 工具の部品を、図の様な配置にして、ドライブチェーンのジョイントピン⑩を内側から挿入し、チェーンを継ぎ合わせます。プレッシャーボルトB②は使用しませんので抜いて下さい。
2. ウェッジホルダーセット⑦をガイドプレート⑤に乗せ、アジャスターボルト(穴付)⑭でウェッジホルダーセット⑦を完全にホールドして下さい。
3. プレッシャーホルダー④の凹部に少量のグリスを塗布し、凹部にジョイントプレート⑪を落ちない様セットして下さい。

●注意

ジョイントプレート⑪は、圧入方向があります。

打刻文字面が外になる様にセットして下さい。

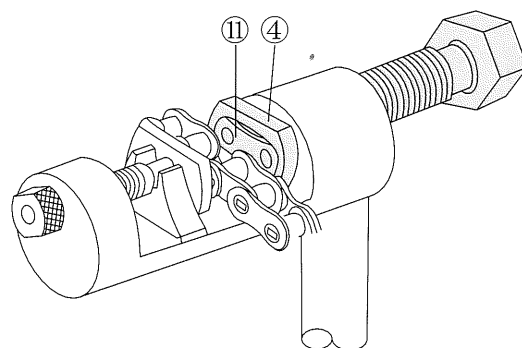
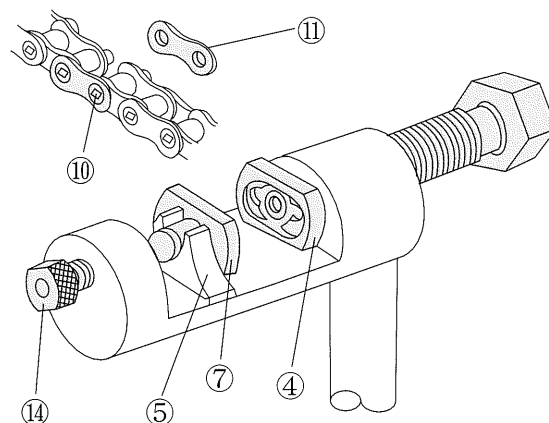
プレッシャーホルダー④は、ジョイントの種類に応じて「F」「C」タイプ及び「428」「50」「520」「630」タイプに区別し打刻してありますので使用に際しては必ず確認して下さい。

「F」タイプ：カシメ式継手用

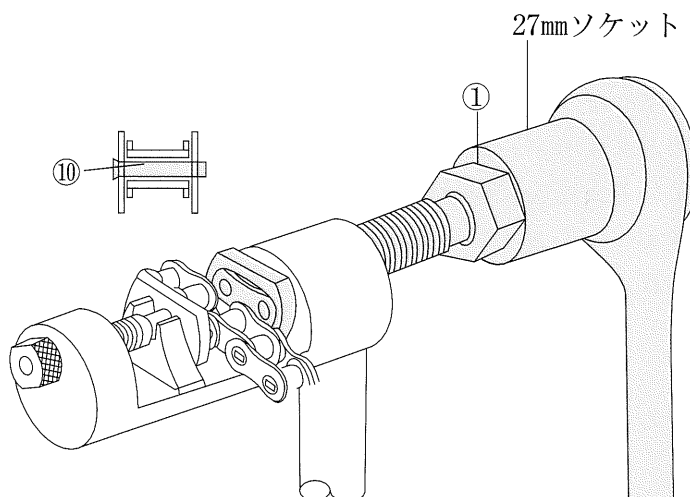
「C」タイプ：プレート圧入クリップ式継手用

プレッシャーホルダー種類	ジョイント種類
428	428
50	50(530), 532
520	520, 525
630	630(別売)

※630は「F」タイプのみです。



4. ジョイント部を図の様にプレッシャーボルトA①をネジ込みホールドし、ジョイントピン⑩がジョイントプレート穴に合うのを確かめたのち、プレッシャーボルトA①をラチェットレンチ等で締付け、圧入します。



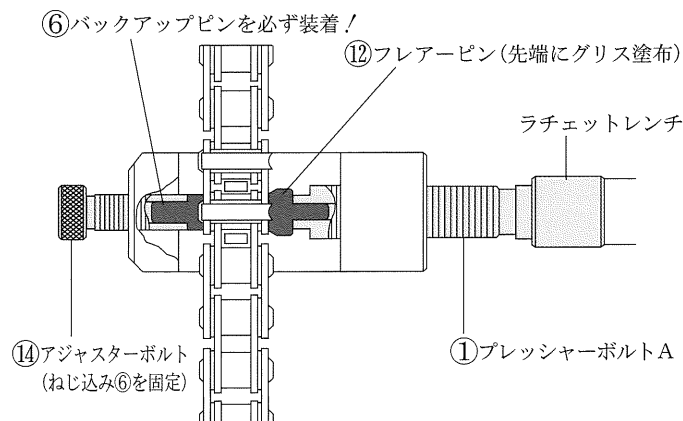
IV. RKドライブチェーンのカシメ

チェーンカシメは下記要領でかならずフレアーカシメをおこなって下さい。

1. 工具の部品を図の様な配置にし、カシメようとするジョイント部をガイドプレート⑤に乗せ、アジャスターボルト(穴付)⑭にバックアップピン⑥をセットし、アジャスターボルトを手でネジ込みチェーンを完全にホールドします。

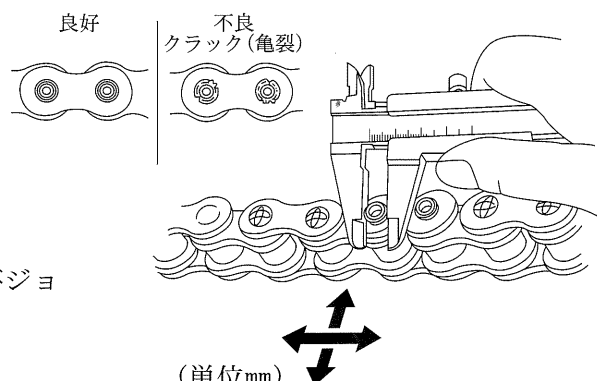
プレッシャーボルトA①の先端穴にフレアーピン⑫をさし込みます。(フレアーピンにグリスを塗布の事)

2. プレッシャーボルトA①をラチェットレンチ等でネジ込み、荷重を掛けてフレアーカシメをして下さい。フレアーカシメ時広げ過ぎはクラックの発生原因になりますので注意して下さい。フレアピンは、428タイプと50タイプに区別し打刻してありますので使用に際しては必ず確認して下さい。



*カシメ後の点検

1. フレアー部にクラックが発生していないか目視点検をおこなって下さい。
2. フレアー径をノギスで測定し、下記規定寸法内にあるか確認して下さい。
3. クラックが発見された場合は新品のジョイントピン⑩及びジョイントプレート⑪を交換し再度カシメ直して下さい。



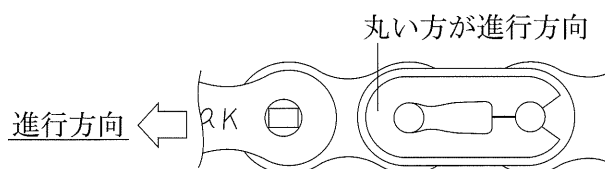
フレアーピンとジョイントの種類 カシメ径

(単位mm)

フレアーピン	428	50	旧50タイプ(別売)
ジョイント	428	520, 525, 50(530), 532	630
カシメ径	$4.65^{+0.1}_{-0}$	$5.45^{+0.1}_{-0}$	$6.05^{+0.1}_{-0}$

V. クリップジョイントの取り付けについて(C L 継手の場合)

クリップジョイントのドライブチェーンを装着する時は必ずチェーンの進行方向へクリップの丸く閉じている方を先に向けてはめ込んで下さい。



RKチェーンジョイントの種類と呼称

RKクリップジョイントにはOリング付きと無しの2種類があります。

C L Oリング無しクリップジョイント、420、428、520、525、50の強化スプリントチェーン等に使用しています。(専用ツール不要)

C L Oリング付きプレートを押入するタイプのクリップジョイントでOリングチェーンのオプションとして使用しています。(圧入に専用ツール必要)

C L Fーカシメジョイント、Oリングチェーンの標準装備として使用しています。(専用ツール必要)

全ての仕様・価格は予告なしに変更する場合がありますので御了承下さい。